

# Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

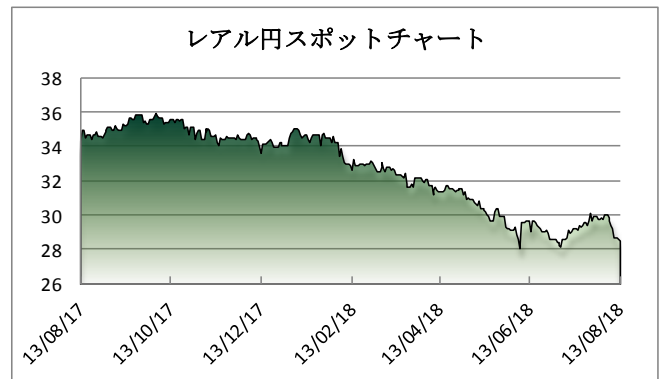
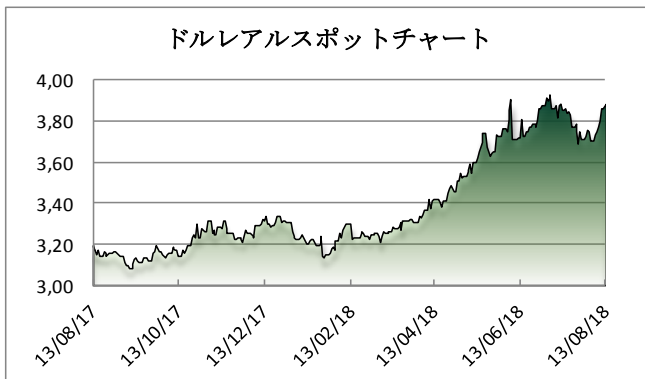
## マーケットサマリー

トルコショックを契機とした新興国通貨売りの煽りを受け、レアルも対ドルで急落。下げ幅は一時1.6%に到達し、6月に記録した今年の最安値3.96台が視野に入る展開。ロイター社はブラジル財務省の匿名情報として、「マーケットのボラティリティが高まれば、政府は介入する容易がある」と報道。レアルが買い戻される局面も見られたが、その後Guardia財務相が、「為替市場、スワップ市場のいずれも安定しており、現時点で介入をする必要はない」とコメントしたことで3.92台後半まで急落。同財務相は、「(5月や7月に実施したような)国庫庁と協調して介入する必要性はないものの、引き続き市場の動きを注意深く監視し、必要に応じて行動を取る」との姿勢を示している。一方、アルゼンチン中銀は市場予想に反して5%の利上げを実施し、政策金利を45%に引き上げた上で、10月まで同水準に据え置くことと表明。新興国通貨売りが再び同国通貨売りに波及する前に予防的な措置を講じたと見られる。世界的な貿易摩擦に伴うリスクセンチメント悪化に改善が見られ始めた中でトルコ発の新たなリスクが浮上。トルコのエルドアン大統領は昨日、「最近のリラ下落は同国に対して仕掛けられた経済戦争の一環であり、経済的な根拠はない」と演説で表明。リラは近く、「合理的な水準に落ち着く」と述べた他、①同国が自由主義経済を放棄することは決してない、②司法当局は経済テロに関与した者を標的とする、③「資本接収」の事実はなく、噂を拡大した者は報いを受けることになる、などと発言している。

## マーケットデータ

Indicator		Unit	8月10日	8月13日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値
レアル	対ドル	BRL	3,8618	3,8836	0,56%	0,83%	3,1210	3,9672
	対円	JPY	28,70	28,51	-0,66%	-2,30%	35,13	27,63
	対ユーロ	BRL	4,4088	4,4314	0,51%	-1,51%	3,8531	4,6831
円	対ドル	JPY	110,83	110,70	-0,12%	-1,49%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	126,51	126,32	-0,15%	-3,79%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	76.514	77.496	1,28%	1,18%	88.318	69.069
CDS Brazil 5yrs		bps	237,00	252,00	6,33%	3,38%	285,83	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	11,85	11,83	-0,17%	3,77%	12,40	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)		%	6,77	6,76	-0,07%	-0,88%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor		%	2,3193	2,3193	0,00%	-0,71%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)		Index	191,69	190,30	-0,73%	-1,77%	206,95	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。